

那加二東部



福祉だより

第64号

令和7年8月1日発行

編集・発行

各務原市社会福祉協議会

那加二東部地区

社協会費が
使われています

声かけ気かけ心かけ



那加二東部地区
社会福祉協議会
会長 大橋 貴司

昨年度に引き続き今年度も会長を引き受けました大橋貴司です。四年目となります。微力ながら地区社協の事業の推進に努力してまいります。

令和七年度の那加二東部地区社協の諸行事が始まりました。今年度も地区社協会員の皆様には、お手間ばかりをおかけしますが諸行事へのご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、四年度までの三年間はほとんどこのふれあい行事が出来ない状況でしたが、五年度以降は感染拡大に注意しながら行事の開催に向けて関係者の皆様に努力していただき小規模ながらふれあい行事を実施することができています。

新たに「ご近所畑事業」を実施し、六年度では親子ふれあい行事として「夏休み宿題の会」を市役所の協力を得て新しい取り組みとして開催することが出来ました。また、自治会連合会主催の「ふれあいウオーキング大会」にブースを出して、連合会のふれあい活動にも協力できました。

七年度は六月に「近隣ケア研修会」と「健康づくり教室」を、七月には「夏休み宿題の会」を実施しました。

昨年度に引き続き、十月五日には

「ふれあいウオーキング大会」にブースを出して自治会連合会に協力する予定です。そして十月十日には「高齢者ふれあい交流会」として昨年度好評でした「落語を楽しむ会」を開催したいと思っています。

ご近所の方にもお声をかけていただき多くの皆様にご参加して頂きたいと思っています。ご協力を重ねてお願いいたします。

『福祉だより』についても年度内に二回の発行をしていきたいと思っています。各自自治会には寄稿の依頼を適宜お願いしておりますが、皆様からの自由な投稿も随時募集しています。

福祉活動の基本は、皆様の声掛けからと考えています。活動の手始めとして皆様から地域の高齢者や子供たちへの声掛けでスタートしてみませんか。

誰もが住み慣れた各務原市で安心して暮らしていけるよう、お互いにながら絆を深めていきましょ。また支援を必要としている方を地域で見守り支え合う手助けを地区社協の二員として微力ではございますが努力していきたいと思っています。

幸せを実感できるまちづくりを「地域の中で声かけ気かけ心かけ、ともに支える安心のまちづくりをめざします」を今期のスローガンに掲げて努力していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

近隣ケアリーダー 研修会

六月十二日に地区社協行事として「近隣ケアリーダー研修会」を十三名の方に参加して頂き実施しました。防犯講座「目指そう！賢い消費者」と題して市役所まちづくり推進課より講師を招いてお話しをして頂きました。

スマホ使用時での詐欺被害も多い昨今、「スマホデビュー時に気を付けたいこと」と「ネットショッピングを安全に利用するために」の映像を観てお話を聞きました。また固定電話による詐欺被害に対しては次の注意点を確認しました。①留守番電話にする

②ナンバードイスプレイにする
③相手の電話番号や名前を聞いてかけ直す

高齢者との触れあいの中で防犯啓発の推進にとっても役立つお話しでした。



令和7年度 那加二東部地区社協 事業計画・収支予算について

5月9日、令和7年度那加二東部地区社協の総会が行われ、今年度の事業計画並びに収支予算が決定しました。皆さまのご理解とご協力があるって成り立つ事業ばかりです。回覧等で事業のご案内をいたしますので、是非ご参加ください。よろしくお願いいたします。

令和7年度 那加二東部地区社協 事業計画

月	日	曜	活 動 内 容
4	4	金	第1回役員会
	29	火	ボランティアハウス事業会計監査
5	9	金	ご近所畑事業苗等配布
	17	土	総会
	23	金	近隣ケアグループ全体研修会(市社協)
6			福祉だより64号寄稿締め切り
	12	木	福祉だより編集会議
	27	金	近隣ケアリーダー研修会(防犯講座)
7			健康づくり教室(健康測定)
			社協会費・会員募集
	26	土	福祉だより65号寄稿依頼
8	1	金	夏休み宿題の会
	8	金	福祉だより64号発行
9			第2回役員会
	5	日	敬老の日 粗品配布
	10	木	親子ふれあいの会
10			高齢者ふれあい交流会
			赤い羽根共同募金
	21	金	第58回各務原市社会福祉大会
11			ボランティアハウス代表者研修会
	9	金	第3回役員会
			福祉だより65号寄稿締め切り
12			福祉だより編集会議
			福祉だより66号寄稿依頼
	6	金	第4回役員会
1	15	日	福祉だより65号発行

ボランティアハウス実施状況

開催地域	名称と開催日
楠町2	楠ひまわりの会(毎月第3月曜日)
大東町	ボランティアハウス大東(毎月第2金曜日)
織田町	おだまち会
東新町	東新サロン(毎月開催(不定期))
桜町1	さくら会(毎月10日)
桜町2	桜二いきいきサロン(毎月第3土曜日)

令和7年度 収支予算書

【収入の部】		(単位:円)
科 目	本年度予算額	
1 交 付 金	270,000	
2 メニュー事業助成金	615,000	
① 親子ふれあいの会	50,000	
② 高齢者ふれあい交流会	50,000	
③ 福祉だより発行	170,000	
④ ボランティアハウス	250,000	
⑤ 福祉座談会	0	
⑥ 近隣ケアグループ研修会	20,000	
⑦ 福祉の人づくり育成	75,000	
⑧ 地区福祉交流会	0	
3 雑 収 入	31,000	
小 計	916,000	
4 前 年 度 繰 越 金	1,368,960	
合 計	2,284,960	

【支出の部】		(単位:円)
科 目	本年度予算額	
1 事 務 費	25,000	
① 事務費	25,000	
2 会 議 費	45,000	
① 役員会	25,000	
② 理事会	6,000	
③ 総会	14,000	
3 共通実施事業費	45,000	
① 福祉教育	45,000	
4 メニュー事業費	665,000	
① 親子ふれあいの会	60,000	
② 高齢者ふれあい交流会	90,000	
③ 福祉だより発行	170,000	
④ ボランティアハウス	250,000	
⑤ 福祉座談会	0	
⑥ 近隣ケアグループ研修会	20,000	
⑦ 福祉の人づくり育成	75,000	
⑧ 地区福祉交流会	0	
5 その他の事業費	90,000	
① 市民運動会助成金	50,000	
② 青少年育成会助成金	20,000	
③ シニアクラブ連合会助成金	20,000	
6 地区活動費	30,000	
小 計	900,000	
7 予備費(次年度繰越金)	1,384,960	
合 計	2,284,960	

私の住む町から

今回は、東新町・住吉町・信長町・
織田町自治会から紹介します。



東新サロン

東新町 矢島 千恵美

当自治会は月一回「東新サロン」を開催しております。毎月さまざまな催しを考えており、災害予防や介護予防教室等、市の出前講座を利用しながら行っています。

特にサロンの参加者で好評だったのが、年末のお楽しみ会です。昨年は初めて社会福祉協議会やボランティアの方の協力を得て、脳トレゲーム・輪投げ・ボウリングを行いました。対抗戦では、参加者の皆さんが白熱し歓声が室内に響き渡りたくさんの方々の笑顔の花が咲きました。ブレイクタイムにコーヒーやロールケーキを頂きながらゲームの話などで盛り上がりコミュニケーションが取れました。

最後に「ありさんあつまれアイウエオアオ」の滑舌を良くするお口の体操を行いました。

また、音楽演奏ではサックス演奏による「瀬戸の花嫁」等の昭和歌謡曲や南米愛好グループの方による「コンドルは飛んで行く」などを聞きながら歌を唱ったり楽器紹介もして頂きとても興味津々でまた来てほしいとの要望もありました。

毎回皆さんが楽しみにお出かけ下さり幸せなひとときを過ごせた事に感謝しております。

人生百年時代に向かって参加者の皆さんが元気で笑顔あふれるサロンが続く事を願っています。



自治会運営

住吉町 木野村 文彦

住吉町自治会は約百世帯の自治会ですが、近年高齢化・独居老人世帯も増えお子様の人数も減少し、高齢化・少子化に直面しています。

そのうえ新型コロナウイルスの感染発生から、自治会での活動・子供会での活動などが停止して、自治会としての運営においても、自治会員としての役割の継承が滞り、本来社会生活に必要な自治会の存在意義が欠如しつつあります。

その要因としては、自治会行事・連合自治会での行事・市役所からの依頼内容など、昭和・平成・令和と時代が変わるなか、家族形態・共働き世代・子育ての在り方・高齢化社会など、変化に対応・順応できていない状態、また責任世代・団塊世代などが、仕事重視や地域とのコミュニケーション不足など、いろいろの要素が重なり合った原因で、自身や子供に甘く、必要なことは誰かが行ってくれるから、自分はやりたくない、自治会とは何か分からないからやりたくないといった考えが多くなってしまった結果だと思われる。

ただ、自治会とは社会生活を送っていく中で不可欠なものである。人は一人では生きていけない。子どもの育成・災害時の対応・生活基盤の補助など、自治会があつて初めて成り立つものである。

住吉町自治会としては自治会運営においてまずは役員や自治会員の負担軽減を考え、事業の見直し、相互連絡の簡素化（メールやSNS）の利用を行い時代に適した自治会活動の最適化を進めています。

子供会の運営資金は自治会費から拠出し、地域で子供を育てる事の大事を再認識させ、元気な高齢者の方々はシニア倶楽部を発足させ予算を自治会から拠出し、神仏のお世話や独居の方々との交流を行ってまいります。

また次世代の自治会運営者への継承を考え、自治会の必要性・持続可能方法を模索していきます。



三世代ふれあい活動「ラジオ体操会」

信長町 掛上 民夫

信長町と織田町の合同で三世代ふれあいのラジオ体操会を、昨年度七月二十二日から二十六日までの五日間で実施しました。

ボランティアハウスからの参加もあり毎日七十名ほどが集まり賑やかな会となりました。

自治会内で集まれる行事が少なくなっている中で一昨年度から始めた行事です。両町内の子供からお年寄りまで世代を超えた集まりと交流の機会を作れました。

今年度以降も引き続き計画していきたいと思っています。皆さんの参加をよろしく願いいたします。



「おだまち会」が発足して二年

織田町ボランティアハウス代表 大橋 貴司

織田町のボランティアハウス「おだまち会（仮称）」が発足して一年が経過しました。

この一年間に、水彩画やポケモンプラモ教室・健康器具による簡易測定など様々なイベントを開いたり、茶話会も開きました。

町の集会所を有効利用して毎月第二土曜日の午前中に町内の方がどなたでも気軽に集まれる場所にすることを目標に活動を始めました。

参加者の主体は高齢者ですが、イベント内容によつては子供たちとその保護者の皆さんの参加もしていただきました。

隣町の信長町にもお声掛けの範囲を広めて多くの方が集えるような環境になればと思っています。会の名称を仮称としているのも今後周辺の皆さんが気軽に集まれるようになれば名称を決めていきたいと思っています。

今後の活動においてもイベント等のアイデアがありましたら情報提供も歓迎いたします。

これから「おだまち会」の活動にご理解とご協力を、そしてご参加もどうぞよろしく願い申し上げます。



昨年度に引き続き「近所畑」事業も継続中です。

四月末に昨年度ご参加の皆様にミニトマトの苗をお配りしました。ご近所の方との会話のきっかけになってほしいと願っています。



大東町 佐藤さん

織田町 大橋さん

毎日成長を見るのが楽しみです。実をつけてからは赤くなれと声もかけています。近所の方からは「実がたくさんついたね」と話し掛けていただいています。

肥料をしっかりと与え、土壌を乾かし準備しました。いつも愛情を持って一所懸命育てています。赤いトマトとなりたくさん実をつけたら、ご近所の方におすそ分けいたします。

